

(国会向け)

請願項目

1. 教育予算を OECD 諸国並に計画的・段階的に増やし、ゆきとどいた教育条件整備をすすめてください。
2. 国の責任で小・中学校、高等学校の 35 人以下学級を一刻も早く実現してください。
また、幼稚園や特別支援学級・学校の学級編製の標準の引き下げをすすめてください。
3. 教育費の保護者負担を軽減して、教育の無償化をすすめてください。
(1) 「高校無償化」を復活し、公立・私立ともに学費の無償化を実現してください。
(2) 私学助成国庫補助の増額と、就学支援金制度を拡充してください。
(3) 必要とするすべての高校生・大学生に対する返済不要の給付制奨学金制度を拡充してください。
(4) 大学等の学費を引き下げてください。
4. 公立・私立ともに豊かな環境のもとで学べるよう、教育条件や施設の改善をすすめてください。
(1) 臨時教職員ではなく、正規・専任の教職員を増やしてください。
(2) 特別支援学校の「設置基準」をつくり、特別支援学校の過大・過密問題を解消してください。
(3) 体育館等の施設を含めた学校耐震化率 100%を早期に実現してください。
5. 東日本大震災などの地震や自然災害、福島原発事故の被害を受けた子どもを守り、学校と地域の要望を反映した復旧・復興をすすめてください。

氏名	住所 (番地までお書き下さい。府外の方は「京都府」を 2本線で消して、府県名からお書き下さい。)
	京都府
	京都府
	京都府
	京都府
	京都府

(宇治市向け)

請願事項

1. 子どもがゆとりを持って学べるように、すべての学校で、子どもに直接関わる教職員を増やしてください。
(1) 「京都式少人数教育」制度を活用し、市内の 35 人以上学級を解消してください。
(2) 小学校における専科教員を配置できるよう府や国に働きかけてください。
(3) 特別支援教育の充実のため
① 児童生徒数が6名を超える特別支援学級に複数の教員を配置するよう国、府へ働きかけてください。
② 通級指導教室の増設を府に働きかけて下さい。
(4) 図書館司書を各校に配置してください。
2. トイレ未改修校は、改修計画を早急に策定してください。
3. 学校教育にかかる保護者負担の軽減策を講じてください。
① 就学援助制度の適応基準の拡大をしてください。
② 就学援助にかかる入学準備金を入学前に支給して下さい。
③ 学校徴収金への公的補助をしてください。
(学校給食費、学級・教材費、校外学習費)
4. 小学校と同様な温かくておいしい給食を、中学校でも早期に実施してください。

氏名	住所

(府議会向け)

請願項目

1. 教職員を大幅に増やし、小・中学校、高校のすべての学年で、府独自に「35人以下学級」を早急を実現してください。
小学校には、音楽・理科などを教える専科教員を配置し、行き届いた教育ができるよう保障してください。
2. お金の心配なく学べるよう、学校教育にかかる保護者負担を軽減して教育の無償化をすすめてください。
(1) 「高校無償化」を復活し、公立・私立ともに学費の無償化を実現してください。
(2) 私学助成の増額による授業料減免制度を拡充し、保護者負担を軽減してください。
(3) 無利子の奨学金制度を拡充し、必要とするすべての高校生・大学生に対する、返済不要の「給付制奨学金」をつくってください。
(4) 十分な人員配置と施設整備により、すべての中学校に全員制の給食が導入できるよう、市町村への財政措置を行ってください。
(5) 給食費を無償にするなど、保護者負担を軽減するため、府独自の財政措置をとってください。
3. 障がいのある子どもたちにゆきとどいた教育を保障するため、
(1) 小・中学校の特別支援学級の学級編成基準を8名から6名にして、学級の過密化・過大化を解消してください。
(2) 特別支援学校の設置基準の早期策定を国に求め、過密・老朽化対策を急いでください。
4. 子どもが育つ地域の衰退につながる「学校統廃合」や「高校再編・統廃合」を拙速に進めないでください。
5. 学校トイレの洋式化・改修など、老朽校舎の改修・改築について、順次すすめるよう、財政支援をしてください。

氏名	住所 (番地までお書き下さい。府外の方は「京都府」を 2本線で消して、府県名からお書き下さい。)
	京都府
	京都府
	京都府
	京都府
	京都府